

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2021年 2月 25日

事業所名： パンダキッズ元町 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	(6回答)はい(6) 学習や室内活動において十分なスペースが確保されている。	(21回答) はい(20) まだ行ったことがないのでわからない(1)	十分なスペースが確保され、ご家族からも子どもがストレスなく過ごしていると回答があった。
	2 職員の適切な配置	(6回答)はい(3) どちらともいえない(3) 特に送迎時に不足気味になる事があるが連携を密にとり、カバーし合っている。	(21回答) はい(17) わからない(3) どちらともいえない(1) 有資格者が多く安心できる。	人員が不足する時には、一層の工夫や職員間の連携を深め、一人一人のスキルも上げていきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	(6回答) はい(4) どちらともいえない(2) 玄関入り口に数段の階段があり、側溝も深いため注意が必要。	(21回答) はい(20) わからない(1)	身体に不自由がある利用者や、注意欠如が見られる利用者には特に注意して誘導している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	(6回答) はい(6) 室内、トイレは毎日清掃し、洗面台の排水溝なども定期的にチェックしている。	(21回答) はい(20) わからない(1)	見えない汚れやほこりにも気を配り皆さんが快適に過ごせる空間を維持できるように心がけている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	(6回答)はい(5) わからない(1) 疑問に思う事はみんなで話し合えるようにしている。		疑問に思う事や、わからない事などは遠慮なく話し合える環境を作り、風通しの良い職場を目指している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	(6回答) どちらともいえない(3) わからない(3) 具体的にどのような所かがわかりにくい。		外部評価について職員にも周知して状況により活用も考えていきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	(6回答) はい(4) わからない(2) 積極的に参加したいという意見が多かった。		コロナ禍の中、研修等も少なく、オンラインを利用したり、独自の研修を進めていきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	(6回答) はい(5) わからない(1) 職員それぞれの意見も踏まえて計画案を作っている。	(21回答) はい(20) わからない(1) わかりやすい内容になっている。	支援計画会議などで職員それぞれの意見を聞き、ご本人やご家族の思いと合わせて総合的に作成するようにしている。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	(6回答) はい(6) 集団活動で有効な支援をプログラムに取り入れるようにしている。		個別の特徴や環境も踏まえて、事業所で可能な支援を提供できるように心がけている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	(6回答) はい(6) ご家族の思いも含め利用者それぞれに合った支援内容を考えている。	(21回答) はい(19) どちらともいえない(1) わからない(1) 子供が楽しめる内容になっている	常にご家族にわかりやすい書き方が出来ているかを意識しながら作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 子供たちが興味をもって取り組めるように考えていきたい。	(21回答) はい(20) わからない(1)	こまめに支援内容の確認を職員同士でも共有して、確認し合い、時には支援内容の変更の話し合いも行っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	(6回答) はい(6) 普段から、アイデアがあれば、共有するようにしている。		支援リーダーを中心に職員それぞれの得意な面を活かし、子どもたちが興味を持てる内容を考えている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	(6回答) はい(3) わからない(1) どちらともいえない(2) 平日は余裕がない日が多い。		平日の利用時間は短いため、じっくりと個別対応ができていない日があるのが課題。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	(6回答) はい(6) 子供たちの反応を見ながら次に活かせるように心がけている。	(21回答) はい(17) どちらともいえない(1) わからない(3)	各職員からテーマを持ち寄ったり、前職での経験を活かして工夫している。前回の課題を踏まえてアレンジする事も多い。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 気付いた事は職員同士で話し合い、支援前の全体ミーティングで共有している。		非常勤職員出勤後、全員でその日の予定、注意点、前日の引継ぎ項目などを共有して、問題点があれば修正、改善する事を毎日行っている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	(6回答) はい(6) 支援終了後は、退社時間となり報告をできない事がある。		利用者お送り後、その日の出来事や保護者との対話などでの気がかり事を話し合っているが、勤務終了時間があるので対応が翌日後になる事があるのが今後の課題。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	(6回答) はい(3) わからない(2) どちらともいえない(1) 日報は子供たちに関わった職員にもそれぞれ聞きとりをしてまとめている。		現在、必要な記録は漏れのないように二人以上でチェックしている。支援の検証・改善については会議を行って実施できるようにしていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	(6回答) はい(6) 不定期ではあるが、必要な時にモニタリングを実施して話し合っている。		現在不定期で行っているため、定期的な実施ができるように調整していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	(6回答) はい(2) わからない(2) どちらともいえない(2)  支援センターや相談支援事業所からの依頼があれば協力している。		他機関からの要請があれば参加している。必要性があればこちらからも依頼していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当利用者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当利用者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	(6回答) はい(4) わからない(2)  当社児童発達支援事業所とは密に連携を取っている。		当社児童発達支援事業所とは密に連携をとっている。外部からの通所希望の方は見学や体験などを行っているが、必要であれば該当施設とも連携を取っていきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当年齢の利用者なし		現在該当年齢の利用者はいないが、その際には情報提供は行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	(6回答) はい(2) わからない(4)  協力できる事はできるだけ協力している。		今後、連携や研修機会を増やして行きたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	(6回答) はい(0) わからない(3) いいえ(3)  今はほとんど交流がないが、近くの公園に行った時には近所の子供たちと遊ぶことがある。	(21回答) はい(6) いいえ(2) わからない(10) どちらともいえない(3)	ご家族からのご要望も踏まえて検討して行きたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	(6回答) はい(0) いいえ(4) どちらともいえない(2)  現在は外出した時に挨拶をする程度。		ご家族からのご要望も踏まえて検討して行きたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	(6回答) はい(2) わからない(2) どちらともいえない(2) 連絡ノートで、通所時の様子をお伝えしている。	(21回答) はい(20) わからない(1)	お送りの際に細かい出来事をお伝えし、その後の様子も連絡するようにしている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	(6回答) はい(2) わからない(3) いいえ(1) 計画書作成段階でご家族の思いや要望は聞いて	(21回答) はい(18) わからない(1) いいえ(1) どちらともいえない(1)	計画書の提示の際には、しっかりと説明できるように時間をとっていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	(6回答) はい(0) わからない(4) どちらともいえない(2) 相談に対して提案する事はあるが、ペアレント・トレーニングまでは行っていない	(21回答) はい(10) わからない(6) いいえ(3) どちらともいえない(2) 保護者セミナーやプリントでの勉強会があればうれしい	知識、技術の向上を目指し、ご家族へも提案できるようにしていきたい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 送迎時や連絡ノートを中心に共有をしている。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1) 不安に思っている事を聞いてもらい、実行に移してもらって助かっている。	送迎時や電話、メールなどで困り事など相談があるが、職員への共有も徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) こちらでできる範囲では対応している。	(21回答) はい(10) わからない(1) いいえ(2) どちらともいえない(8) 保護者との面談の機会をもっと作ってほしい。	面談を気軽に希望できるようにしていきたい。他機関への紹介が必要な時は提案していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	(6回答) はい(0) わからない(2) いいえ(4) 現在父母の会等がない。	(21回答) はい(0) わからない(8) いいえ(9) どちらともいえない(4) 「交流があればうれしい」「必要ない」など様々な意見があった。	保護者同士の交流の機会がほしいという意見もあれば必要ないという意見もあるので、今後検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 苦情解決及び相談受付を設置して対応している。	(21回答) はい(16) わからない(4) いいえ(1)	事実確認、対応、周知を迅速かつ明確に行う事の徹底をしていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 少しでもコミュニケーションを取れるように様々な方法で試みている。	(21回答) はい(21)	常に子供たちの様子に目を配り、サインを見逃さない様に職員全員で気をつけている。ご家庭でのやり取りなども参考にしている。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	(6回答) はい(5) わからない(1) 定期的に工夫しながら発信している。	(21回答) はい(20) わからない(1)	今後も個人情報に注意しながら、日々の活動や通所時の子供たちの様子を見て頂けるように工夫して発信していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	(6回答) はい(5) わからない(1) 細心の注意を払い扱っている。	(21回答) はい(18) わからない(3)	十分に注意を払って数人でチェックしていく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) 各種マニュアルをすぐに取り出せる場所に置いている。	(21回答) はい(19) わからない(1) どちらともいえない(1)	職員には定期的にマニュアルの確認を促して周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	(6回答) はい(5) わからない(1) 地震や火災の怖さも伝えながら、実施している。	(21回答) はい(19) わからない(1) どちらともいえない(1)	地震災害、火災に分けて最低年1回ずつは行っている。 その他でも必要であれば実施していく。 利用日が異なり、全員が参加できていない事が今後の課題。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	(6回答) はい(5) わからない(1) 全員研修を行い必要ならば具体的な事例を共有している。		職員全員で虐待への意識をもって対応できるように研修を行い、事業所の目に付くところにマニュアルを設置している。 障がい者虐待防止法の資料を目に見える場所に設置している。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	(6回答) はい(1) わからない(5) 現在までは該当例はなし。		現在まで身体拘束を行う場面はなかったが、身体拘束廃止委員会は設置して対応できるようにしている。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	(6回答) はい(5) どちらともいえない(1) ご家族からの情報に対しておやつ、調理実習の際に気を付けて実施している。		利用者全員のアレルギーを表にまとめ職員がすぐに目にできる所へ配置し把握、対応ができるようにしている。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	(6回答) はい(5) わからない(1) ヒヤリハットは全体ミーティングでも共有して、事例は報告書として管理している。		ヒヤリハット事例が起きた場合は速やかに原因を突き止め対策を講じられるようにしている。 事例は書類として保管し今後の教訓としている。